

「第3期関西観光・文化振興計画(仮称)」中間案に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

令和7年1月
関西広域連合
広域観光・文化・スポーツ振興局

「第3期関西観光・文化振興計画(仮称)」中間案に対する府県民意見等を募集した結果、4名から延べ44件のご意見・ご提案をいただきました。
いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は以下のとおりです。

番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	関西広域連合観光・文化・スポーツ局が「神戸・淡路・徳島観光広域圏」を創出する。	関西広域連合の各府県市の連携による広域観光の推進については、本計画の戦略2において、「関西各地の有形無形の文化をはじめ、多種多様な資源を共通のテーマやストーリーで結ぶことにより、地理的なつながりにとどまらない周遊プランの造成などに取り組み」と記載しているところです。頂いた御意見も参考にさせていただきながら、取組を進めてまいります。
2	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、架け橋の役割又は橋渡しの役割となって、和歌山県と徳島県との「空海が繋ぐ海の遍路道」の推進を行う。 ※具体的には、南海フェリーーの和歌山-徳島航路による紀州接待講・野上接待講・有田接待講の振興や徳島からの高野山参詣	
3	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が主体となって、関西広域連合の府県の地域内にある各道の駅を一つに束ねて「関西広域連合道の駅ネットワーク網」を構築して、新たな広域観光の進展を行う。 ※具体的には、南あわじ市の道の駅「うずしお」と鳴門市の道の駅「くるくる鳴門」とのうずしお観光での観光振興	
4	関西広域連合観光・文化・スポーツ局が主体となって「関西広域連合盆踊り大会」を大阪城ホールで開催する。 ※河内音頭踊り、阿波踊り、丹波篠山デカンショ踊り、和歌山ぶんだら踊り、串本踊り、鳥取しゃんしゃん傘踊りなど	関西には世界文化遺産をはじめとする魅力ある文化資源が数多く集積していることから、その魅力の一体的な情報発信や文化を活用した観光の推進等に取り組んできました。本計画の戦略1「文化資源等を活用した関西の魅力づくり」に、関西各地の魅力づくりを進め観光面での活用を促進することとしており、頂いた御意見も踏まえ、関西の活性化につなげていけるよう取り組んでまいります。
5	関西広域連合観光・文化・スポーツ局が主体となって「関西広域連合・人形浄瑠璃街道」の更なる展開を行う。 ※大阪府の文楽と能勢人形浄瑠璃、兵庫県淡路人形浄瑠璃、徳島県の阿波人形浄瑠璃、京都府の和知人形浄瑠璃、滋賀県の富田人形浄瑠璃、鳥取県の水口人形芝居など	
6	関西広域連合観光・文化・スポーツ局が主体となって、京都府の西陣織と丹後ちりめん並びに徳島県の阿波藍しじら織の地域地場産業伝統文化の振興を図る。 ※具体的な取り組みとしては、京都市内の京町屋で、西陣織、丹後ちりめん、阿波藍しじら織のファッションショーを開催して、京都の芸舞妓さんにモデルになってもらう。	
7	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ局が主体となって、関西広域連合内の各府県の主催による各府県の持ち回り方式による「関西広域連合文化祭」を開催する。⇒国民文化祭の関西広域連合版	
8	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、関西広域連合府県のそれぞれの地域内の旧国名の文化の振興を図る。 ※京都府(山城+丹波+丹後)、奈良県(大和)、大阪府(摂津+河内+和泉)、滋賀県(近江)、兵庫県(播磨+丹波+但馬+丹後+淡路)、和歌山県(紀伊)、徳島県(阿波)、鳥取県(因幡+伯耆)	
9	(2)③生活文化や舞台芸術を活かした観光の推進 毎年秋になると京都市で「古典の日」の取組みに関わる式典が開催され、今年も盛況だったと聞きました。時代祭も開催され、多くの観光客、見物客の方々が来られたようです。時代祭が開催された日の夜、京都市左京区鞍馬では鞍馬の火祭が開催され、伝統行事が多く開催されることと思います。こうした古典の日や伝統行事にかかわることで、この地域の歴史や大切に語り伝えられてきた物を知ること、その地域を理解することができると思います。 地域のなりたちを知り、さらにその地域の魅力や愛着が生まれ、観光客、見物客の方々に「来年もまた来よう」とか、地域にもっと入り込んでかかわりたいとか、その地域を大好きになっていただくことが必要です。地域で暮らす人々も、普段は関わりがなかったり薄くても、そうした古典の日や伝統行事と一緒に取り組むことで、知らなかった人とも仲間になれたり、地域のつながりができることを期待できます。	本計画の戦略1「文化資源等を活用した関西の魅力づくり」において、「古典の日」の取組や茶道・華道・書道、伝統工芸など伝統的な生活文化を活かした体験型観光、ユネスコ無形文化遺産にも登録された和食や伝統的酒造りなど、日本の食文化を国内外へ発信し、関西の活性化につなげていけるような取組を進めてまいります。
10	(3)③生活文化や舞台芸術を活かした観光の推進 日本全国の地方都市や過疎地に向き、その土地で生産された農作物などの食材、その土地ならではの調理法によって作られた料理を食べることで、食文化や生活習慣を学ぶことを楽しみに旅行するガストロミーツーリズムが話題になっています。 多くは中国やヨーロッパから訪日する富裕層の人々で、食事や旅行に大金をかけても惜しくないとしながらも、その地方都市や過疎地、そこに暮らす人々の生活知ろうとする姿勢や食事を通じて食文化を理解しようとする中で、地方都市や過疎地の魅力が知られ、経済の振興になる事は良い事だと思います。しかし、地元の人々にもその土地でできた食材や食文化を理解し、食事を楽しんでいただくまでになっていないことは、大変惜しい事をしていると思います。もちろん食材の中にはマツタケなどの高級・希少食材もあり、地元の人々が召し上がることができない場合もありますが、地元の食材、調理法や料理を理解できれば、新たに訪れるガストロノミストなどの観光客に、その魅力を伝えることはできません。小学生などの子どもたちを中心に、食育教室を開くなどの取組や、伝統料理の伝承にも引き続き取り組む。	
11	(2)③生活文化や舞台芸術を活かした観光の推進 京都市内には能楽堂という能や狂言などの伝統芸能を開催する文化施設がいくつかあり、定期的に能や狂言の舞台があります。能は面をかぶった演者と和楽器を演奏する囃子方、掛け声や語りを入れる地謡が一体になり、限られた広さの舞台や人数、道具を使って物語を表現します。狂言は日常の出来事や人々の関わりをユーモアを交えて、面白く、考えさせられながら、物事のやりとりを表現します。勝手がわからなければ難しい話もあるかもしれませんが、物事がわかればなるほどと思える所もあるかと思えます。 人間同士のやりとりをユーモアで面白く、時には悲しく、切なく表現するところに能や狂言の面白さがあるかもしれませんが。香川県琴平町や熊本県山鹿市には、地元伝わり長年演じられてきた歌舞伎などが見られる芝居小屋(舞台)があったと思います。 それら地方の町の伝統芸能のあり方も参考にしつつ、地方・地域に自立を促し、活性化を図り、人々が集まる場にする地方・地域創生を図れるよう考えていきたいです。 ダンスによる舞台芸術も京都市では盛んで、大学生が集まって舞台で行う創作ダンス「京都学生祭典」が今年10月、京都市左京区の岡崎公園で開催されました。 大学生のダンスによる舞台表現の場を今後も維持できるようにしつつ、大阪市で行われる御堂筋パレードなども参考にし、舞台上にこだわらず路上を使ったダンス、今年行われたパリオリンピックより実施されたダンス競技「ブレイキン」の大会実施の検討もいいのではないかと思います。	

番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
12	関西広域連合観光・文化・スポーツ振興局が「大鳴門橋自転車専用道」(令和10年春開業予定)を鑑みて、「徳島自転車ラインサイクリングロード」と「淡路島一周サイクリングロード」との広域的なサイクリングロードの構築ができるように、架け橋の役割又は橋渡しの役割を行う。又、併せて、新たなサイクルツーリズムの推進を行う。 ※具体的な取り組みとして「ツールド・関西広域連合」の実施⇒徳島ラインサイクリングロード・淡路島一周サイクリングロード・びわ湖一周サイクリングロードなどの一体化	スポーツや豊かな自然を活かした観光の推進について、戦略2において多様なツーリズムの推進の一環として取り組むこととしております。また、健康増進や心身の癒しに資する観光の推進については、戦略1において滞在型観光の推進の取組として記載しております。御意見頂きましたサイクリング等も、広域周遊の促進に魅力的なコンテンツであることから、計画への追記を考えてまいります。
13	関西広域連合観光・文化・スポーツ局が、関西広域連合広域医療局と連携して、来年の「大阪・関西万国博覧会」の開催を視野に入れて「メディカル・ヘルス・ツーリズム」の推進を行う。 ※具体的には、人間ドック健康検診＋観光の組み合わせ	関西各地の魅力あふれる文化資源の振興やそれらを活用した多様なツーリズムの推進について、本計画においては、戦略1において映画・マンガ・アニメーション・ゲーム等のメディア芸術やデジタル技術を活用した文化芸術活動を推進することや、戦略2において多種多様な観光資源を共通するテーマやストーリーで結ぶことなどを記載しています。今後
14	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、来年の「大阪・関西万国博覧会」を視野に入れて「ネイチャー・ツーリズム」の推進を行う。 ※具体的には、鳴門市の鳴門海峡でのシーカヤック体験や三好市の吉野川でのラフティング体験など	も様々な切り口からこうした取組を進めてまいりたいと考えております。
15	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が「アニメ文化」による「アニメ・ツーリズム」の推進を行う。 ※具体的には、徳島のアニメの祭典の「とくしま★マチ★アソビ」の支援を行う。	
16	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が「シネマ・ツーリズム」の推進を行う。 ※「眉山」(松嶋菜々子主演で徳島市が映画の舞台)、「虹をつかむ男」(西田敏行主演で美馬市脇町大字猪尻の脇町劇場・オデオン座が映画の舞台)、「鳴門秘帖」(鶴田浩二主演で鳴門市が映画の舞台)、「ババットの楽園」(松平健主演で鳴門市大塚町板東が映画の舞台)、「人生いろいろ」(吉行和子主演で徳島県上勝町の株式会社いろいろが映画の舞台)、「祖谷物語-おくのひと-」(武田梨奈主演で三好市の祖谷地域が映画の舞台)など	
17	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局の主催による「関西広域連合・城巡りスタンプラリー」の実施で、城郭文化の文化振興を図る。 ※大阪府の大坂城、岸和田城 京都府の二条城、福知山城、兵庫県姫路城、明石城、播州赤穂城、洲本城 滋賀県の彦根城 奈良県の大和郡山城 和歌山県のと歌山城など	
18	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が主体となつて「お手伝い」+「旅」の「おてつたび」の推進で、新たな観光振興を図る。⇒ワーキング・ツーリズム ※鳴門市商工政策課では、鳴門市×アオアヲリゾートナルトで「おてつたび事業」を推進しています。	地域に根差した産業などを活用した観光の推進については、地域経済にも好影響を及ぼすという点で、地域と調和した持続可能な観光の推進に非常に重要であると考えております。本計画の戦略2においても、酒蔵や工房見学、農業体験などを活用した観光の推進に取り組むことを記載しており、頂いた御意見も踏まえ、取組を進めてまいります。
19	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、農業体験＋農家民宿の「アグリ・ツーリズム」や漁業体験＋漁家民宿の「ブルー・ツーリズム」の推進を行う。	
20	(2)④地域の産業を活かした観光の推進 地域の酒づくりがユネスコ世界遺産に申請されたとのことで、国内外で酒蔵で行われる酒づくりや酒の販売、提供が話題になっています。沖縄県では泡盛、九州地方では様々な焼酎が作られています。京都府では京都市伏見区の月桂冠、黄桜酒造、大倉酒造など多くの酒造メーカーや酒蔵があり、京都市以外でも亀岡市の丹山酒造が有名です。 京都市伏見区は日本酒づくりに必要な米の集積地であるとともに、区内に多くの湧水が出る井戸があり、お酒をたしなむだけでなく、湧き水を汲みに来る観光客、来訪者の方も多くなります。酒粕、酒まんじゅうといったお酒にちなんだ商品もあり、酒蔵・工場見学はもちろん、酒類やお酒にちなんだ商品の販売による買い物、散策を楽しんでいただきたいです。	
21	(2)④地域の産業を活かした観光の推進 農山漁村や市街地から離れた山間地域にある農家・民泊は観光客の方々にとって、農山漁村の暮らしを体験し、その地域の文化や生活様式、そこで古くから伝わる伝承を知る機会を与える場になりますし、農山漁村・山間地域で暮らす地域住民の方々にとっては貴重な収入源であり、地域のことを知っていただき、人々の交流の場になることはいいいことだと思います。 京都府内では国道沿いなどに道の駅ができたことで、地元でできた農作物や加工食品の販売も行われ、生産者の顔や情報を知ることや健康志向、食の安全の意識が国民の中に浸透している今、遠くから買い物に来られる方もいることでしょう。 農家レストランの経営は、地元で取れた農作物やチーズ、ヨーグルトなどの乳製品、魚介類を調理した献立やジビエ料理の提供、その場で召し上がっていただくことで、地産地消の実現により、長距離で食材・食料品を運ぶ物流による環境負荷、フードマイレージが悪くなることで起きる温室効果ガスの増大を防止し、エコツーリズムの一役を担っています。 稲や農作物の栽培や刈り取りだけでなく、米をついて餅つきをしたり、調理を行うことは自然とのふれあいや農業体験だけでなく、特に小学生のお子さんとその親御さんなどの御家族にとっては最高の食育教室になります。今後の課題は、農山漁村や山間地域に向かうための交通機関をどう運行するのか、道路や橋などの交通インフラの整備、例えば京都府伊根町などは海沿いの道路が狭く、バスが混み合い、住民の方の日常生活にも影響が出ているのではと思いますので、この点配慮する必要があるでしょう。	

番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
22	関西の交通インフラの充実に取り組みつつ、主要な課題の解決に尽力すべき	交通アクセスの利便性の向上や、二次交通課題解決などについては、各府県市で取組を進めておりますが、関西広域連合では、好事例の共有や、国への制度改善の提案、MaaSなどの民間事業者の取組への協力に引き続き取り組むとともに、頂いた御意見については、各事業者とも共有してまいります。
23	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、徳島空港の国際化並びに南紀白浜空港の国際化で、更なる関西広域連合地域内での広域周遊観光の利便性の向上を図る。 ※令和6年11月16日からグレーダー・ベイ・エアラインによる徳島＝香港線の国際定期航空路線が週3便(月曜日・水曜日・土曜日)で就航開始 ※香港を含む珠江デルタ地域(中華人民共和国の広東省の省都の広州・深圳・澳門・珠海・佛山・中山・东莞)から訪日インバウンド観光客が見込める。⇒徳島からインそして関空からアウト、関空からインそして徳島からアウトの例 ※令和7年3月から大韓航空による神戸＝ソウルに川線の国際チャーター便が毎日1便の就航開始が決定	
24	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が、多種多様な交通手段を利用した広域観光ルートの構築並びに関西広域連合地域内の交通インフラ整備の充実を図る。 ※具体的には、鉄道は大阪＝鳥取・倉吉間を結ぶ特急「スーパーはくと号」の増便 ※具体的には、高速バスは京都(JR京都駅烏丸中央口)＝徳島線、大阪＝徳島線(大阪駅JR高速バスターミナル・JR難波駅O-CAT[大阪難波駅西口のりば]・大阪梅田阪急三番街・大阪梅田阪神ハビスENT・大阪なんば高速バスターミナル[スイスホテル南海大阪5階])、神戸＝徳島線(神戸三宮[ミント神戸・三宮神姫バス高速バスのりば]・新神戸・神戸空港)、関西国際空港(徳島行きは関西国際空港第1ターミナル1階の2番のりば)＝徳島線(高速バスのシャトル便化を図る。 ※具体的には、航空路線は、関西国際空港＝鳥取線及び関西国際空港＝米子線の国内航空路線の開設を行う。⇒格安航空会社のピーチの運航が現実的 ※具体的には、なにわ筋線の早期の開業⇒京都＝関西国際空港間を結ぶ特急「はるか号」の所要時間の短縮並びになにわ筋の中之島駅で京阪電鉄の中之島線の中之島駅との乗り換えの利便性の向上を行う。	
25	②交通アクセス等の利便性向上 関西エアポートが管轄する三か所の空港間アクセスの構築と充実 現状…関西空港～伊丹空港 コロナ前は約30分に1便→1日5便へ激減 関西空港～神戸空港 高速船 毎時約1便で一日16往復。 伊丹空港～神戸空港 直接行ける手段無し。三宮で乗換え。 提案…伊丹空港、および神戸空港からの観光スボットの一つである、元町・中華街で乗降ができるスタイルで直行便の新設 a)神戸空港→「元町・中華街」(乗降可)→伊丹空港 b)伊丹空港→「元町・中華街」(乗降可)→神戸空港 既存の阪神バス、阪急観光バス、関西空港交通の3社が人員不足なら、西日本ジェイアールバスなど新規事業者が運行。	
26	②交通アクセス等の利便性向上 現状の中で、大阪梅田(いわゆる、「キタ」地域)に点在する高速バス系の乗車地は、約10ヶ所もあり、東梅田の近鉄バス乗り場や空中庭園のウィラーバス、中津の梅田モータープール、桜橋口高架下に複数業者、JRバスターミナルに、空港バス乗り場3ヶ所と、乗換えが非常に不便である。 そこで、関東のように、行政側の強制的集約で、大きなバスターミナルを設置し、且つ一定時間内に再び阪神高速に乗り戻る場合、路外パークキングのサービス手法(ETC2.0)を導入できれば、乗り入れ会社が増えて、より利便な総合バスターミナルとしての地位が確立できる。新宿ではバスター新宿ができてからは、他の路上乗車地での道路使用を認めていない様だ。	
27	地方都市・過疎地における交通機関や道路・橋などの交通インフラの整備、ホテル・旅館や農家レストラン・農家民泊を活かした宿泊施設の充実、その土地で暮らす人々がいきいきと生活できるよう施策を考える必要があります。今年1月観光庁では、地方都市・過疎地、とりわけ近畿地方では熊野古道に近い奈良県十津川村など紀伊山地に点在する町村がある地域の整備を行うと聞いています。交通機関や交通インフラ・宿泊施設が不十分であり、取組みがその後進展しているかは分かりませんが、観光庁のそうした取組を見ながら検討する事が大事です。	
28	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が主体となって、関西広域連合地域内の公立の美術館(県立美術館並びに市立美術館)で「関西広域連合美術館ネットワーク」の構築を行う。 ※例 本州四国連絡高速道路株式会社の「せとうち美術館ネットワーク」 ※ 鳴門市の大塚国際美術館は「日本のル・ブル美術館」	文化施設等の連携については、関西の博物館や美術館を無料または割引料金で利用できる「ミュージアムぐるっとパス」の発行や「関西文化の日」等により、文化施設の連携強化や文化に触れる機会の創出に取り組んできたところです。
29	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局が主体となって、関西広域連合地域内の公立の博物館(県立博物館並びに市立博物館)で「関西広域連合博物館ネットワーク」の構築を行う。	更なる利用促進につながるよう、本計画の戦略1の「文化施設・芸術団体の活用強化」において、「ミュージアムぐるっとパス」の参画施設の拡大や「関西文化の日」の充実などに取り組む、文化施設間の連携や情報発信を進めてまいります。
30	(2)②文化施設の活用強化 毎年11月になると「関西文化の日」という近畿地方の2府4県鳥取県、徳島県の関西広域連合の地域にある博物館、美術館などの文化施設が楽しい展示を企画し、広く告知し、来館を呼びかける取組があります。観光客の方だけでなく、地域住民の方々も地元の博物館、美術館の展示会を知り、文化的活動に興味や関心を持つことができるきっかけになります。 京都市左京区の京都大学博物館や京都市上京区の京都市考古資料館には、縄文時代や弥生時代の土器や遺跡から発掘された出土品が多く展示されています。 来館し、観ていただく事で観光客の方にとっては新しい発見があり、地元の方にとっては改めて自分が住んでいる街のことを知る機会になると思います。 京都大学博物館の1階にある常設展示の一つにインドネシア、マレーシアにまたがる森林、ランピルの森を模造した森の一部が展示され、現地に行かなくても熱帯雨林の中にいる機会を体験できます。今後も引き続き「関西文化の日」を継続していただきたいと思います。	
31	④外国人への情報発信の強化 訪日する外国人の多い国や地域の現地出発空港で動画を流したり、日本側の主要空港の荷物を受け取るまでの暇な時間を活用し、税関検査を悪意に通過しようとする輩への対策として、出口側にマジックミラーを設置し、ターンテーブルエリアでの写真撮影が可能な状態であれば、デジタルサイネージの機器を付けたリ、荷物が出始めるまでに、ベルト上に立体的なアイテムで笑いを生むように仕掛けて、脳裏に直接訴求し、印象が残るようなPR活動を展開してはどうか。	関西広域連合では、これまで関西観光本部と連携し、観光情報サイト「The KANSAI Guide」における多言語での観光情報の発信や、全国通訳案内士の活動量の増進やスキルアップを図るセミナー等を実施してまいりました。 今後も、SNSやインフルエンサーを活用した情報発信の強化や、観光地の案内表示等の多言語対応をはじめとした、外国人旅行者に分かりやすい環境の整備、通訳案内士の育成等に取り組んでまいりたいと考えております。
32	(2)①外国人旅行者にも分かりやすい環境整備の推進 外国人観光客の方の中には信仰する宗教により食べることのできない食材や料理があります。イスラム教は豚肉を食べてはいけなく、とか、調味料も使っていない物があり、食事を提供する際は配慮をしなければいけません。野菜を中心に動物性の食材や料理を食べないヴィーガンの方や野菜を中心に食べる食生活を送るベジタリアンの方もいます。 京都市左京区の京都大学の中にある学生食堂の料理を出す所にイスラム教徒に配慮した料理を提供していることを証明するハラル認証のれが掲示されています。 イスラム教やイスラム文化を勉強し、イスラム教徒などのイスラム文化圏から来日した観光客や留学生、労働者などに積極的に料理を提供したいと思う飲食店が、ハラル認証の審査を受け、認証の証明を掲示できるような取組を進め、今後は肉類を食材に使わない仏教禅宗の料理、精進料理を提供する飲食店でも、みりんなどのアルコール類を使った調味料を使わないなど、ハラル認証にあっていれば料理が提供できるなど、工夫していくのいいと思います。ヴィーガンやベジタリアンへの配慮についても何か証明できるようなものを掲示できる制度があればいいと思います。	

番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
33	4)災害時等の安心安全の確保に向けた取組の推進 日本に電話番号を有しない海外からの旅行者が、日本滞在中、安心して、そして便利で利用できるツールの提供を。 一例として、「040」から始まるIP電話番号アプリの提供と、このアプリに旅行者の国籍や氏名、メールアドレスなど簡易的な個人情報登録させることで、大規模災害(例えば、南海トラフ巨大地震など)の発災時に、各外国公館へ位置情報等の情報共有をしたり、必要に応じて、直接旅行者本人の母国語でやり取りができる連絡体制を確立してはいかがでしょうか？ 海外の携帯電話では、国際通話料金がかかりますが、国内でIP電話番号を貸与することで、自然災害時における迅速な対応はもとより、民間宿泊施設へ買い物した商品の配送時の際にも有効な通信手段があることで、利便性は増すと考えます。 訪日者全員に040アプリを提供できれば、NACGSのシステムと情報共有し、免税商品の購入情報、出入国管理、在外公館との連携もスムーズになり、利用者も日本国内で、日本国内の電話番号へ発信または受信したいときにも、廉価または無料で出来れば、訪日外国人にとっても便利になる。 可能であれば、2025年の大阪・関西万博で来日される外国人へ試験的に提供し、利用してもらっていく中で見えてくる課題や問題修正を繰り返して、本格的な導入に向けて取り組んではみてはいかがでしょうか？	災害時の安心安全の確保に向けた取組については、戦略2において、構成府県市や他の分野事務局と連携した災害情報等の迅速な収集と提供等、災害時の安心安全の確保に向けた取組を推進することとしており、頂いた御意見も参考にさせていただきますながら、外国人旅行者の安心安全の確保に努めてまいります。
34	4)災害時等の安心安全の確保に向けた取組の推進 日本に暮らす外国人を有効活用し、防災センターでの地震や火災の災害発生時の初動対応を学習した在日外国人に対しては、その研修を受講し、優秀な方は、出入国在留管理局へ評価データを提供し、在留資格の更新や変更時の手続きに優位になるよう便宜を図ってもらえれば、日本に暮らす外国人が、こぞって積極的に参加し、日本人スタッフの外国語対応の問題解決にもつながると予想しています。	
35	関西広域連合広域観光・文化・スポーツ局が来年の「大阪・関西万国博覧会」の開催を視野に入れて「紀伊山地の霊場と参詣道」と「四国88箇所霊場と遍路道」との架け橋の役割又は橋渡しの役割を行う。	関西広域連合も参画する「EXPO2025関西観光推進協議会」において、関西各地の魅力的なコンテンツ収集や旅行商品の造成、海外への情報発信に取り組み、万博を契機に関西を訪れる人々の関西広域周遊観光の促進を図ってまいります。 本計画の戦略4に記載のとおり、万博後もこうした取組を継続することで、周遊観光を引き続き推進してまいります。
36	当面は、近づくEXPO2025大阪・関西万博に向けての取組を強化して国内外からの2,800万人以上の来場を確保すべき。	
37	文化庁が関西に移転した「地の利」を活かして文化庁-関西広域連合-関西経済連合会-文化庁連携プラットフォーム4者共同宣言「文化の力で関西・日本を元気に」に基づき、国際発信とグローバル展開を、ビジネスの視点を入れて戦略的に取り組むべき。CBX=Cultural Business Transformationを推進すべき。	CBXの推進については、本計画の戦略3「文化と経済の好循環及び国際発信の推進」に、関西のアート市場の活性化やナイトタイム・エコノミーの拡大など、今後、関西が国際的な芸術文化発信拠点となるような取組を位置づけ、文化庁や経済界等と一体となって取組を進めてまいります。
38	文化芸術に関わる人材の育成方法をより具体的に検討すべき	文化人材の育成については、本計画の戦略4「持続可能な観光・文化振興のための推進体制等の強化」において、大学や関連する学会等と連携したワークショップの実施、専門家による解説や見学機会の創出など、人材育成に資する機会を設けてまいります。
39	(2)②文化芸術資源の活用 京都市左京区の京都府立植物園の夜間開館の取組、春の夜桜見物、夏の温室植物鑑賞のための温室の一般開放により、多くの来場者が来られ楽しまれました。 植物の夜間の生態を鑑賞するのももちろん、日中、通勤・通学・家事で植物園に来場できない方々の来場や、今年、夏の間の猛暑日により外出できなかった方も楽しんでいただけたことと思います。今後は地元、京都市の方々だけでなく観光客の方々にも来場していただけるよう周知していくこともいいと思います。深夜の時間帯の飲食、遊興、観光をビジネスとして推進、拡大するナイトタイムエコノミーを今後、推進することはあまり好ましいことではありません。多くの人々によって議論を重ね、慎重に考えた方が良いでしょう。 京都市内やその周辺のホテル、旅館などの宿泊施設の近くには住宅地があるため、観光客の夜間の外出や散策、飲酒、時には大声を上げるなどの行為が地域住民にとって迷惑になることがあるからです。宿泊、飲食、遊興、観光に関わる従業員の深夜労働の拡大にもなります。今、社会では深夜の労働時間を減らそうという取組として、JR西日本などの鉄道事業者は、終電時間を早くしたり、コンビニエンスストアの深夜時間帯の勤務の人手不足があり、深夜時間帯の営業を中止する検討も行われていると思います。 深夜時間帯の労働時間、営業時間の推進、営業の推進は地球温暖化防止活動、脱炭素化推進にも良くありません。地球温暖化防止活動、脱炭素化推進のためには再生可能エネルギーの推進や温室効果ガス排出削減、都市緑化推進などのグリーンインフラ推進とともに、節電を行い、夜型社会を見直すことが大事です。京都府や多くの京都府民は、2050年に温室効果ガス排出量実質ゼロを目標に努力し、京都府庁の職員の方々もそのつもりで取り組まれているものと思っています。宿泊、飲食、遊興、観光に関わる従業員の深夜労働、営業時間の推進、拡大、夜型社会を見直し、現状、営業が行われている居酒屋・バー・コンビニエンスストアなどの営業にとどめるよう努めることや、地球温暖化防止活動推進のためにも、ナイトタイムエコノミーのあり方を今後も多くの府民が考え、慎重に議論していただきたいと思います。	関西広域連合では、地域住民の生活の質の確保と観光客の満足度向上の両立が重要であると考えており、本計画においても、戦略4において、住環境への配慮、文化や習慣の理解促進、自然環境への負荷防止等に向けた情報発信の強化に取り組むこととしております。 頂いた御意見も参考にさせていただきますながら、訪れてよし、住んでよしの持続可能な観光の実現に向けて取組を進めてまいります。

番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
40	(1)②先進事例の共有や情報交換の実施 国連が2030年までに達成を目指す持続可能な社会をつくる為の17の目標、SDGsは森林の緑や海洋環境など地球環境の保全を中軸に据え、人権擁護、保健福祉、教育、防災、平和維持活動などの様々な分野で国民一人一人が取り組み実行していくのです。 関西広域連合の府県におけるSDGsに関する取組事例を集め、共有し、観光業に関わる宿泊業・飲食業・土産物店などの販売業・交通事業者などが、それぞれの職場で従業員一人一人が無理なくその職場にあわせたSDGsに関わる取組みを行い、観光客の方にもまた、旅行先の土地やそこで暮らす人々に対して敬意を払い、迷惑をかけないようにしながらルールやモラルを守って行動し、地域住民の方々も観光客の方々を気持ち良く迎え入れるよう努めていきたいです。観光に関わる宿泊・販売・交通機関の事業者の多くが慢性的な人手不足から、一人一人の従業員に負担がかかり、十分なサービスができるのか、今後のことが心配です。SDGsの取組を継続しながらも、人手不足などの観光業が抱える課題の解決や、持続可能な観光地づくり、運営に、観光地の自然環境、景観保全、文化遺産や住民生活に負担をかけないようにすることもあわせて必要です。	本計画において、持続可能な観光の実現は、目指すべき将来像のひとつとして考えており、戦略4において、観光客のニーズを満たしつつ、文化財や自然環境等への負荷や、観光地に暮らす人々の生活への影響を軽減するため、住環境への配慮、文化や習慣の理解促進、自然環境への負荷防止等の啓発に向け、積極的な情報発信に努めることとしております。 頂いた御意見も参考にさせていただきながら、持続可能な観光の実現に向け、エコツーリズムなどについて計画の記載を充実させるとともに、関西全体で取組を進めてまいりたいと考えております。
41	(1)②先進事例の共有や情報交換の実施 観光客の方はもちろん、地元で暮らす地域住民の方々にも日頃から地球環境に負荷をかけない、地球温暖化防止活動に関わる取組に積極的に関わっていただき、役に立っていることを残していただきたいと思います。観光客として宿泊した際、客室には歯ブラシ・ひげそり・シャンプー・リンスなどのアメニティグッズがありますが、なるべく使わず、旅行先で宿泊する際は、ブラシ・歯ブラシ・ひげそりは最初から用意するようにしておいた方が良いでしょう。 地域住民の方々が出し、コンビニエンスストアやスーパーマーケットに立ち寄り、うどんやカップラーメン、スバゲティーなど、箸やスプーン・フォークが必要な食品を買うとき、割り箸をいただくことがないよう、箸箱をもっていくのもよいでしょう。ホテルに宿泊したとき、食事がバイキングということもあると思いますが、一人で食べきれないほど、食べたりせず、自分に合った食事を考え、食べ残しがないようすることや、節電や節水にも気をつけることも必要だと思います。	
42	(2)③生活文化や舞台芸術を活かした観光の推進 京都市は茶道・華道が盛んに行われ、市内に多くの家元があり、茶道や華道の師範に習う生徒の方々も多くいます。茶道は韓国や中国でもありますが、抹茶をたてて、主人から客にたてたお茶をお出しすることや、茶室で茶会がおこなわれることは日本独自の文化であり、外国人観光客にとっては、そうした作法や精神性が茶道に関心を持ち、ひきつけられるのではと思います。 ヨーロッパの多くの国々には花を生ける文化があり、フラワーアレンジと呼ばれているそうですが、花瓶や剣山を置いた平皿や荒に花を生ける華道もまた、日本独自のものだと思います。季節に応じていろいろな花があり、どのような花を生けるかという所や、時と場所によってはお客さんをもてなすために必要だったりもします。 茶道・華道は奥が深く難しいので、分かりにくい所もありますが、それだけに知れば知る程、いろいろなことが分かり、楽しめると思います。外国人観光客を含めて京都府・京都市に来られた観光客には茶道・華道の特別な体験とともに、その奥深さを知っていただきたいです。	文化の海外発信の推進と外国人旅行者の文化体験の機会の創出について、本計画の戦略1「文化資源等を活用した関西の魅力づくり」において、文化資源の観光面での活用や、戦略2(1)④「外国人旅行者への情報発信の強化」において、文化の海外発信等に取り組むこととしております。関西観光本部の観光情報サイトにおける多言語での文化イベントの情報発信や、関西各地の魅力的な文化体験コンテンツ等を活用した観光の推進に取り組んでまいります。
43	(3)③生活文化や舞台芸術を活かした観光の推進 京都市は古くから西陣織・京友禅などの織物や、京だんす、京仏具などの工芸品などの伝統工芸が盛んで、京都府内に目を向ければ京丹後の丹後ちりめんも有名です。 伝統工芸品を見る、手にとってみるだけでなく、職人の手によって、どのように作られた物かがわかれば、外国や他府県から来られた観光客も、その価値や手間をかけて作られた物かがわかり、伝統工芸品の理解が深まると思います。京都市左京区の京都市勤業館みやこめっせの地下1階にある京都伝統産業ミュージアムには、京都府内で作られた様々な伝統工芸品が展示され、曜日や時間帯によっては職人による伝統工芸品をつくる手作業の実演が見られるかもしれません。 京都市上京区の西陣織会館の1階には明治時代以降、導入されたジャガード織機が使われる前の長い間、西地伊織の織機として3人がかりで動かしていた空引機(そらひきばた)が展示されており、職人による手作業の実演や商品の販売を実施しているそうです。 現代人の感覚で伝統工芸品を見ると「なんでこんなに(値段)が高いの」と思う方もいるでしょう。ただ、こうした伝統工芸品を作るのに時間と人手、労力、原料があることを忘れてはいけません。観光客に商品を見ていただくだけでなく、職人たちの手作業の実演や販売も見ていただく体験型観光を推進することで、伝統工芸品の価値を理解していただきたいと思います。	
44	『関西の未来は、あなたと共に The Future of Kansai with You 』	将来に向かって関西が新たな価値を生み出し、世界に発信し続けるクリエイティブな地域となることを目指したキャッチフレーズを検討しております。